

総額392億600万円

新年度予算は3月4日に開会した市議会定例会議に上程、25日に各上程議案が可決され、散会しました。

一般会計予算

一般会計予算規模の総額は、154億2千700万円となっており、前年度当初予算168億8千300万円に比べて、8.6%減(14億5千600万円)となっています。

前年度と比較して予算額が大きく減少した理由は、前年度に引き続いて実施する臨時福祉給付金やし尿処理一部事務組合への負担金で補助費等が約3億8千900万円の増額となったものの、小松島南中学校の完成に伴い普通建設事業費が約19億1千600万円の減額となったことによるものです。

新年度の主な事業としては、市営グラウンドをリニューアルする日峯大神子広域公園(協谷地区)整備事業や防衛施設周辺洪水対策事業等の建設事業のほか、地方創生関連事業として雇用創出事業や中心市街地にぎわい創出事業等を計上しています。また、新規事業では認定こども園運営事業や助産師が相談支援を行う産前・産後ママサポート事業等の子育て支援事業、その他の事業として小学校タレット端末導入事業等を実施します。

今後の財政運営については、「小松島市行政改革プラン2015」の目標でもある、持続可能な行財政システムの確立が必要となります。そのためには、人口減少社会に対応した施設の統廃合や集約化による公共施設の再編等も見据え、投資的事業の計画的な予算措置により、事業費の平準化に努めつつ、長期的に持続可能な財政運営に努めてまいります。

〔伝統・文化の継承・発展とスポーツの振興〕
☆市立体育館運営事業、ミリカホール自主公演事業など。

〔産業の振興〕
☆地域しごと支援事業、客船入港歓迎事業、地域おこし協力隊事業など。

〔働きたい人が働ける環境づくり〕
☆高齢者活力創出事業、雇用創出事業など。

〔快適に暮らせる生活基盤の整備〕
☆葬斎場建設事業、旗山団地2号棟新築事業、ごみ焼却施設整備事業、小集落外壁改修事業など。

〔魅力ある都市基盤の整備〕
☆中心市街地にぎわい創出事業、高速道路対策事業など。

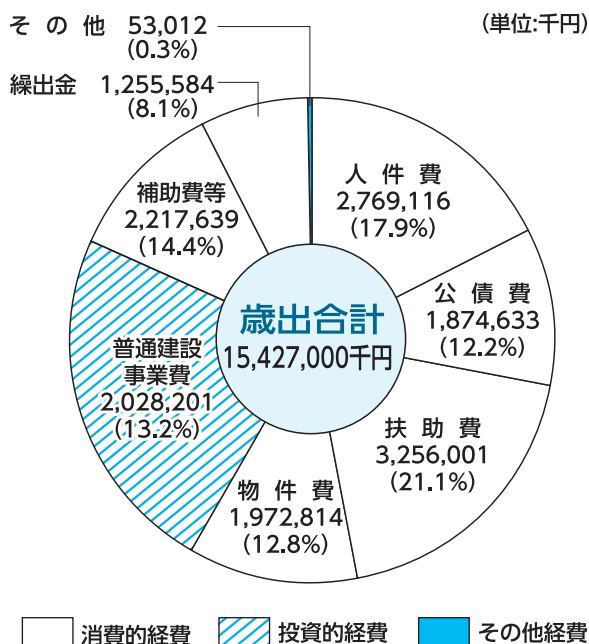
☆中心市街地にぎわい創出事業、高速道路対策事業など。



主な普通建設事業は次のとおりです (百万円未満は四捨五入)

- ☆都市基盤整備事業 1億2千400万円
- ☆消防施設整備事業 1億3千200万円
- ☆公営住宅整備事業 1億800万円
- ☆庁舎・福祉施設整備事業 4億6千500万円
- ☆文教施設整備事業 8千500万円
- ☆農林水産事業 2千900万円
- ☆道路・河川整備事業 3億300万円
- ☆環境衛生整備事業 7億8千100万円

一般会計歳出(性質別)の状況



特別会計予算

〔競輪事業特別会計〕

地方公共団体の財政資金の調達を目的として設けられている収益事業です。収支改善計画が終了することに伴い、開催日数が増加することから前年度比32.1%の増となっています。

〔後期高齢者医療特別会計〕

原則75歳以上の方が加入する医療制度です。県下の市町村が加入する広域連合への納付金を支出します。前年度比2.5%の増となっています。

〔住宅新築資金等貸付事業特別会計〕

前年度比0.7%の減となっています。

〔土地取得事業特別会計〕

公共用地を先行取得するために必要な事業です。前年度予算と同額となっています。

〔介護保険特別会計〕

介護保険制度を社会全体で支えるための特別会計です。前年度比1.8%の減となっています。

〔公共下水道事業特別会計〕

社会資本整備の一翼を担う事業で、大雨等に対する浸水対策を実施します。川北3号雨水幹線函渠築造工事などを行い、前年度比30.6%の増となっています。